

桑名市民病院新病院整備計画 基本構想（案）から

4 疾病 5 事業（へき地医療対策除く）について

4 疾病

○ がん

がん医療においては、治療分野では外科治療（内視鏡治療を含む）・化学療法・放射線治療の全てが可能であることが必須であり、かつ、専門性を強く要求されます。市民病院では専門治療の充実を目指し、各分野での専門医師の確保と、地域がん診療連携拠点病院として必要な放射線治療装置などを導入し、高度、専門機能の充実を図ります。

また、在宅患者のための外来化学療法機能や早期発見ががん医療において治療成果を高めるため、CT・MRI・アンギオ装置の他に、PET、RIなど診断・治療機器の導入を検討し、診療機能の向上を図ります。

さらに、緩和ケアチームによる緩和医療の提供、がん患者や家族に対する相談及びがんに関する各種情報の収集、提供を行います。

○ 脳血管障害

脳血管疾患は、急性期治療の重要性が再認識されるとともに、亜急性期、慢性期にかけての地域連携が重要とされています。

脳血管疾患、脳卒中は、高齢者医療費の第1位を占めており、高齢者人口の増加が予想される中、その重要性は今以上に高まると予想されます。

脳はとても脆弱な組織で血流が止まると大きなダメージを受けますが、血流を数時間以内に復活させると脳の組織が回復する可能性があることから、超急性期の適切な治療のために24時間の診療体制と、急性期からのリハビリテーションによる機能回復が重要であり、SCUなど急性治療体制の充実が必要となります。

○ 循環器疾患

高齢者人口が増加すると、心筋梗塞や虚血性心疾患等の緊急に治療を要する患者の増加が予想され、予防から診断、治療までの包括的な医療機能の充実が

必要です。

また、冠動脈疾患は迅速な再開通療法と不整脈の管理が予後を決定するため、救急体制、及びCCUの整備が必要である。バイパス術や弁置換術が可能な整備を整え、循環器外科医と内科医の連携を図り、心疾患に対する統合的診断・治療を行います。

○ 糖尿病

糖尿病は最近急速に患者数が増加している疾患です。長期の高血糖は、心筋梗塞、脳梗塞、腎不全、失明、壊疽の原因となり、患者の生命及びQOLに大きく影響を及ぼします。従って、合併症の発症の予防、すでに有している合併症の進展抑制を行うことが重要です。

そのため、患者指導により生活改善を図り良好な症状を維持し、合併症の状態を評価し、それらの治療を行う「生活習慣病センター」(仮称)を設置します。センターには、医師、コメディカルスタッフの確保、検査機器の導入が不可欠となります。

これらのシステムは、糖尿病のみならず生活習慣病全般に応用でき、また、病診連携体制をより強化し、糖尿病も含めた生活習慣病全般の診療をより充実させ、地域住民の医療に貢献します。

5 事業（へき地医療対策除く）

○ 小児科医療

小児科医療は、成人に対する医療に比べ、女性の社会進出やライフスタイルの変化等の社会的変化の影響も大きく受けており、休日や夜間診療の需要が増えています。また、小児科医の不足により、診療できる医療機関も限られてきていることから、全国的に見ても小児科医療を実施できる施設が求められています。

市民病院でも、医師不足から当直体制をとっていない状況であり、平日夜間及び休日などの時間外診療については、桑名市救急医療情報センターで対応しています。

小児科医師の確保に努め、小児の二次救急医療に対応出来る体制をとります。

○ 産婦人科医療

産婦人科は全国的に見ても顕著な医師不足の状況であります。その上、出生率の低下など市場も縮小傾向にあるため、不採算部門と位置づけられる診療科

です。

市民病院でも平成17年8月以降、産婦人科でのお産を休止していますが、地域住民に安心・安全な医療を提供するためにも、産婦人科医療の整備が求められています。

産婦人科医の確保に努め産婦人科医療の整備検討を行いますが、まずは、助産師による助産師外来、院内助産所の開設など、地域で分娩できる医療の提供を行います。

○ 救急医療の役割

①二次救急を輪番病院の一員として担っていますが、医師不足等から輪番日対応が困難になりつつある病院があるなかで、公的病院として輪番日への積極的な対応を果たす役割があります。

②北勢保健医療圏では2番目の日本救急医学会認定救急科専門医指定施設であり、脳神経外科、内科、整形外科及び外科の24時間365日体制、また、コメディカル部門の365日当直体制をとるなど、公的病院として救急医療の更なる充実を図り、救急専門病院として救急医療提供の重点化を図ります。

③桑名市応急診療所における一次医療と密な連携を構築します。

○ 救急医療

救急医療は政策医療の代表的なものであり、地域住民が最も要望する機能の一つです。将来的にも救急患者の増加が予想されている状況を考慮し、更なる救急機能体制の充実を目指します。

地域住民の要望に対応して、地域医療の中で、桑名市応急診療所及び他の医療機関と連携・協力し、二次医療を完備できる救急医療体制の充実を図ります。

○ 災害時支援病院機能の役割

災害医療は、市民病院としての役割でもあり、災害発生時は市内における災害医療の中心的役割を担って機能しなければなりません。

災害発生時には、地域住民の被災者が市民病院へ集中することが予想されるため、ライフラインの確保、医療機材用の備蓄倉庫の確保や災害時に患者を一時的に収容できるスペースの確保を図ります。

これらの役割を果たすために、災害拠点病院を目指します。